



青葉区フードバンク通信



留学生と市民との交流促進によって異文化の理解を深める当会の国際的リビングラボ活動!!

リビングラボという言葉を知ったことがありますか？ 地域での生活をより良くするための活動を目指しますが、あるテーマについての革新的なアイデアを出し合い、市民や企業、教育機関、行政などが共に研鑽してサービスを創り出したり、商品開発をしたりするのが特徴です。

誰でも任意にリビングラボを名乗ることができ、特に資格などは不要ですが、1人で行うのではなく連携して取り組む活動なので、チームワークが重要です。例えば、空き家問題を解決するために、市民、学生、教授、企業、役所などがアイデアを出し合って、問題解決をしながら何かしらの経済活動も生み出すというものです。

国際文化交流研究会は1987年の設立以来、まさにこうしたリビングラボ活動に相当する活動を行って



ケアプラザの受付ではコロナ対策の消毒や記名などを一人ひとり行っていました。

きています。横浜で学んでいる外国人留学生と地域の日本人とのコミュニケーションを「食」を通して促進し、お互いの暮らしの理解を深めるために文化的な背景を尊重しながら問題を解決する活動を続けてきました。その活動の延長線上に、昨今注力している「フードバンク活動」があり、食品配布を通して国際的な交流を深めていくことを狙いとしています。

地元で開催される「夏祭り」や11月に行われる「区民祭」に留学生を案内するなどの地道な活動が地域の皆様に理解されております。他団体の協力も頂きながら進み、「継続は力なり」がモットーです。

2021年も早いもので11月、12月を残すばかりとなりましたが、外国にルーツを持ちながら日本に暮らす方々と日本人の交流促進を、「食」を通して今後も続けてまいります。



2回目の開催となった鴨志田団地での食品配布会、準備の様子。

主なフードバンク活動の記録

【第18回】11月08日（月）鴨志田地域ケアプラザ

【第19回】11月10日（水）夢見堂

【第20回】11月15日（月）鴨志田団地集会所

【第21回】11月24日（水）夢見堂

★今後の食品配布会の開催予定★

12月08日（水）、22日（水）夢見堂

12月12日（日）すすき野団地

12月13日（月）鴨志田地域ケアプラザ

12月20日（月）鴨志田団地集会所

編集後記 11月8日の鴨志田地域ケアプラザでの食品配布

会に、近くの寺家町にある「里のENGAWA」の農園などで活動されているフランス人のアレックスさんがお見えになりました。お話を伺ったところ、「里のENGAWA」には食品ロス削減に興味があるお客様が多くお見えになるそうで、何かそうした活動の支援をしたいということでした。さっそく12月から「里のENGAWA」にも食品ロス削減の促進をお願いしたいと思います。少しずつですが、当会の活動が広がってきており、嬉しい限りです。アレックスさんをご紹介下さいました依藤様にも御礼申し上げます。（園） <https://kokusai-bunkalabo.com>